

五つの宝



泉八小だより 第12号

運動会特集1 杉門編

校長 井上 雅晴

「杉門」造り特集!

泉第八小学校の運動会の風物詩、恒例の「杉門」を地域の皆様方につくっていただきましたので、今回はその様子をレポートしてみたいと思います。

いわれやいつの頃から始まったのかは不明と言うことですが、老人会の会長様曰く、「自分が子供の頃からつくられていた」と言うことです。



①山から切り出した杉の丸太に切り込みを入れていきます。



②長さをそろえた柱を、鳥居風に組み上げていきます。



③釘などは使わず、荒縄で締め上げ、固定します。



④組み上がった柱を立て、割矢(くさび)でしっかり固定します。



⑤作業の一方では、飾り付ける杉の葉の準備をしていきます。



⑥柱に茅を巻き付けます。杉葉を差し込む土台になります。



⑦角は折り込んで形を整え、繋ぎ目が目立たないようにします。



⑧巻き付けた茅を、わら縄で結わり、土台を締め上げます。



⑨完成した土台に、ていねいに杉葉を差し込んでいきます。



⑩上手く杉葉のそりをそろえるのがポイントです。



⑪全体を見渡しながから、徐々に姿を整えていきます。



⑫最後は、ていねいにトリミングをして、美しい姿に整えます。

立派な「茅垣」も作っていただきました。



地域の皆さんの思いがこもった立派な杉門の完成です。子どもたちにもしっかり受け継いでほしいです!

